



### 伊草の地名 その昔

**伊草** 現八潮市大字伊草  
伊草は、綾瀬川の氾濫源の沖積地に位置し、綾瀬川により形成された自然堤防上に集落が発展していた。地名は、低湿地に繁茂する藺草に因むと言われ(『八潮民俗資料』三)、また、藤塚一三郎は「伊草は古来八条領に属し、伊草は藺草の意である。この地は古利根川、綾瀬川にはさまれた低湿地であるから、往古はかような水草が茂生していたのでその名

が生じたと思われる(『埼玉県地名誌』昭和四十四年)と述べる。藺草はイの植物のことで、イグサ科の多年草、イは畳表に用いられる。昭和五十五年ころの植物調査(『八潮市史 自然編』)では、お年寄りはイグサ科のイヤホソイ、カヤツリグサ科のフトイなどをイグサと呼び、伊草付近の休耕地に繁茂していた。伊草地名は、延文六年(三三)の「市場之祭文」(『武州文書』)にみえ

る「武州伊草市祭成之」の市祭地が伊草に当てられると言われ、史料による初見である。近世期の集落地名の小名は不詳。近現代の字地名は、村附、葛西井堀西、上根、鎗田、谷中、上ヶ田などがある。本号は、伊草の小史を述べたい。

**伊草村** 江戸期から明治二十二年までの村名。伊草村は、近世初頭は騎西郡八條之内伊草村、正保年間に埼玉郡八條領伊草村となる。支配は、天正十八年(五五)八月一日に徳川氏支配、のち幕府領、寛文十年(六七)に土井能登守領、天和二年(六六)に幕府領に服し代官支配地となる。東は鶴ヶ曾根村、北は青柳村、西は立野堀村(現草加市)、南は松之木村に接する東西五町・南北一〇町の村域。検地は寛永四年(六三)と貞享元年(六四)、新田検地は享保十六・十八年(七三・七四)、貞享元年の検地では、村高二五七石三升七合、総反

## 文芸欄

### 呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。  
【応募先】〒340-8588 八潮市中央一丁目  
八潮市役所広聴広報課広聴広報係

### 詩

**花と息子** 大瀬 河原カツ  
ヒヤシンスが庭の土をもち上げ  
薄緑の頭を出した  
息子が球根を植えておいたのだ  
やがてピンクや紫の蕾をつけた  
息子は毎朝、花たちに声をかける  
ある寒い朝、庭を見ると  
花たちに傘がさしかけてあった  
息子が霜よけにと気づかっていた  
昨夜、テレビで霜予報を告げていた  
休日には、息子は庭で太陽を浴び  
花とともに輝いていた  
〈評〉優しい息子さんですね。

### 短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃  
官界の腐敗、墮落の根深きに

軽々というな「心の教育」  
浮塚 金子壽一  
自分史を作らむと思ひ昭和史の  
資料を求め古書街ぶらつく  
南川崎 伊本則子  
ウグイスの初鳴き聞きしペランダに  
衣干しつゝ耳そばだてぬ  
南後谷 杉村セツ  
孫娘希望校へと羽ばたく日  
遙かな夢を追求めつつ  
古新田 横田八重  
釣人の前に顔出す鯉二匹  
釣られるものかといひいと逃げおり  
木曾根 高谷多門  
風優し梢の芽ぶくふるさとの  
父母眠り居る彼岸の墓地は  
二丁目 田中祐子  
久かたに逢いし旧知の娘近き  
姑通夜の燈を窓より見つむ  
西袋 広瀬とよ

梅まつり雪をかぶりし梅の枝に  
短冊ばかりひらひらと舞う  
八潮五 林悦子  
声悲しかすかに聞ゆ鶴の  
四方の山峽春未だ浅く  
柳之宮 伊藤利  
風邪病む君が回復案じつつ  
桜芽吹き道一人ゆく  
大曾根 宗像ゆき子  
咲き満ちし紅梅の花風に散り  
友と吾とをふぶき遊べや  
柳之宮 平沼良子  
筆談の力なき文字覗くわれ  
真近に父と顔を見合わす  
西袋 鈴木厚子  
外孫の節句にひなを祝いが  
家の狭きに飾る場もなし  
大曾根 小倉末子  
日の丸をなびかせ滑る金メダル  
テレビ見るわれ涙あふれる  
二丁目 田中元三

根川中川筋藻刈組合(二五八八斗  
九合)が一〇間、綾瀬川筋藻刈組  
合(二三二石八斗五升六合)が一  
二間半等を管轄した。  
明治十四年(八六)ころの伊草は、  
「四方平野、車馬二便ナリ、然ト雖  
大麦ニ乏シクシテ、常ニ草加宿ヨリ  
輸入ス」(『村誌取調書』)の村であっ  
た。戸数は三五戸、人口二七人、  
馬三頭、船七艘があった。道路は、  
東京往還と草加往還、橋は葛西用水  
の下流に地蔵橋(土橋)と土橋(土  
造)があった。農産物は、米が二七  
三石余、大麦八一石余、小麦九石余、  
大豆七石余、小豆三石余、蕎麦二石  
余などで、「草加宿、或ハ東京ニ輸送  
ス」、また製造物では「藪筵、質中等、  
出来高老々年凡九万九千枚、東京ニ  
輸送ス」(『村誌取調書』)と記される。

気ばかりは焦れど動きままらぬ  
この冬の風喜寿には敵し  
二丁目 平井石龍  
子の雛の片方に母の古雛かな  
裸婦像の瞳が動く花吹雪  
中央 山角微陽  
春水に触れて色増す錦鯉  
歩をゆるめ梅の匂いの中に入る  
八潮六 藤崎政子  
花衣余韻残して曇みけり  
天は地に焦がれて花を咲かせけり  
八潮五 西森八重子  
失いし虚ろな日々や草青む  
八條 杉村知香  
草餅の箸にも残る草の色  
八潮一 鈴木多津子  
商品に外つ国の文字春の旅  
八潮八 浅田淑子

維飾る弥生の空に雪が舞ふ  
八潮七 石井忠枝  
ひとり来て佇む宵の梅明り  
八潮七 小倉孝義  
校庭の主となりける桜かな  
鶴ヶ曾根 平本愛子  
春の句を供えて亡父と語り合ふ  
坂 沼野あい  
若武者の孫高校に入学す  
小作田 藤波ふみ  
老木の桃それなりに花芽つけ  
柳之宮 加藤龍子  
咲き初めて春呼ぶ野辺の犬ふぐり  
二丁目 佐藤栄子  
愛し孫カバンを見ては指を折る  
柳之宮 尼ヶ崎友江  
雪しきり心静まるボタン園  
八潮五 小島しず子  
カリンの木に鶯鳴いて春告げる  
〈評〉季節が重ならないよ、注意下さ  
い。

## 行ってみたいな となりまち



近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

### 三郷市

○第3回三郷市民演劇祭  
日時 4月26日(日)、午後1時から  
場所 三郷市鷹野文化センター(三郷駅から金町駅行きバスで「八木郷橋」下車徒歩3分)  
出演劇団 SHIINOMI II、県立三郷北高校演劇部、椅子の気持ち、都立水元高校演劇部  
入場料 無料(整理券が必要)  
問い合わせ 三郷市鷹野文化センター ☎56-9010

### 松伏町

○平成の楽市楽座  
だれでも気軽に参加できるフリーマーケットなどを行う「市」を開催しています。  
日時 4月26日(日)、午前9時～正午(雨天中止)  
※毎月第4日曜日が開催予定  
場所 リサイクルふれあい広場(松伏郵便局ならび)  
問い合わせ 松伏町商工会 ☎92-1771

### 吉川市

○第3回さわやか産直ウォーキング大会  
日程 5月17日(日)(雨天・5月24日(日))  
コース 健脚コース(11km・午前8時50分スタート)、さわやかコース(7km・午前9時20分スタート)、ふれあいコース(3km・午前9時40分スタート)、各コースとも吉川市立総合体育館集合  
費用 100円(保険代など)  
申込先・問い合わせ 4月6日(月)から30日(木)までに吉川市健康増進課 ☎82-5111 ☎403

### 越谷市

○大相撲越谷場所一越谷市制40周年記念一日時 4月17日(金)、午前8時～午後3時  
場所 越谷市立総合体育館(越谷駅東口から、総合公園行きバスで「総合体育館前」下車)  
入場料 マスB席3万8000円(4人分)、マスA席4万4000円(4人分)、イスA席6000円、イスB席4000円、自由席2000円(中学生以下の自由席は500円)  
問い合わせ 越谷市立総合体育館 ☎64-4321

### 草加市

○そうか公園へ行ってみませんか  
園内には自由広場、修景池、四季の森・市民の森、テニスコート(有料)、多目的運動広場(有料)、ウォーキングコースなどが整備されています。春になるとボケ、ジンチョウゲ、サクラ、ツツジ、ライラックなどが咲き乱れます。  
交通 草加駅からバスで老人福祉センター行き終点、青柳循環「総合グラウンド前」下車徒歩3分  
問い合わせ 草加市みどりの協会 ☎31-9833



郷土の歴史 334

### 伊草の地名 その式

**大字伊草** 明治二十二年四月一日から現在に至る八潮市域の大字名。近世の伊草村が、明治二十二年の町村制の実施に伴い、南埼玉郡八潮町の大字となり、その後、昭和三十一年に八潮町、昭和四十七年に八潮市の大字となり、今日に至る。

全国における伊草地名は、比企郡伊草(川島町)がある。その他、上井草・下井草(杉並区)と表記する地名もあるが、伊草は概して少ない地名である。

なお、伊草の北部の水田地帯は、昭和四十三年に草加八潮工業団地の造成に伴い、大字新町となる。

**字 地** 地租改正時(明治六年)の伊草村の字地名は、村附、葛西井堀西、上根、鎗田、谷中、上ヶ田などがあつた。そのうち鎗田・谷中・上ヶ田と上根の北部(水田)が昭和四十三年に新町となると、現在の大字伊草の字地名は、村附(一〇三二〇番地)、葛西井堀西(三二一〇五〇九番地)、葛西井堀西(三二一〇五〇九番地)、葛西井堀西(三二一〇五〇九番地)と記される。地名は、南北に

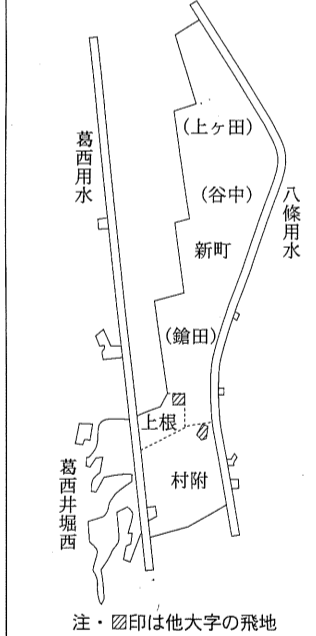
五(五八番地)のみの範囲となつた。

**上ヶ田** 昭和四十三年まで大字伊草の字地名。現大字新町の北部付近で、往時は八條用水西側の水田地帯。明治十四年の「村内ノ取調 伊草村」によると、「谷中耕地ノ北ノ方ニアリ、東西武町、南北武町」と記される。地名は、東西武町、南北武町と記される。地名は、東西武町、南北武町と記される。

**谷 中** 昭和四十三年まで大字伊草の字地名。現大字新町の中部付近で、かつては八條用水西側の水田地帯。「村内ノ取調 伊草村」によると、「本村ノ北ノ方ニアリ、東西三町、南北武町」と記される。地名は、「八條谷」の中ほどに位置したことにより、八條の谷(井)中によるか。

**鎗 田** 昭和四十三年まで大字伊草の字地名。現大字新町の南部付近。「村内ノ取調 伊草村」によると、「上根耕地ノ東ノ連ル、東西老町、南北三町」と記される。地名は、南北に

■伊草地名の分布図



注・印は他大字の飛地

長い地形に因むが、伝承によると、乾燥期に素足で歩くと、土くれが足に突き刺す様が槍で突かれるように痛い水田と言われ、硬い土目の水田のことで、ヤリツタと表現した。

**字上根** 大字伊草の字地名。「村内ノ取調 伊草村」によると、「本村ノ中央ヨリ北ノ連ル、東西武町、南北四町」と記される。地名は、早くから開かれた根元集落地の根の上(北部)に因む。

**字葛西井堀西** 大字伊草の字地名。「村内ノ取調 伊草村」によると、「村

附耕地ノ西ノ方ニ連ル、東西武町、南北四町」と記される。地名は、葛西用水の西に位置する事に因む。葛西用水は、葛西井堀と呼ばれ、慶長十七年(一六三〇)頃に開削され、伊草村が二分されたことにより、地名が起立した。

**字村附** 大字伊草の字地名。「村内ノ取調 伊草村」によると、「本村ノ中央ヨリ南ノ連ル、東西三町、南北三町」と記される。地名は、ムラの集落(根)に附する耕地による。

## 文芸欄

呉美代選

### 詩

**花嫁** 伊草 中山靖子  
息子夫婦が新婚旅行から帰ってきた  
息子にうながされ  
嫁のM子は家に入ると  
「お母さん、ただいま帰りました」  
と頬を高潮させて挨拶をした  
「お母さん、その澄んだひびきが  
私のなかで跳ねまわった  
そして背筋に緊張感が走った  
娘のいないこの家に  
ほんのりと花の香りが漂った  
「お母さん、花嫁さんを迎えたお母さんのよう  
こびが短い詩句の中から感じられます。

### 短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃

陰鬱な世相をしばし和らげて  
桜前線遠ざかりゆく  
南川崎 伊本則子  
彼方より木遣りの美声聞えて  
木落し坂に固唾をのみ待つ  
八潮八 浅田淑子  
菜の花の咲く川辺を通路ゆく  
春の四国の風物詩なり  
柳之宮 栗原幸子  
山菜黄も彼岸桜も咲く庭に  
植えし夫は征きて幾春  
柳之宮 伊藤利  
花吹雪川面に白き帯つくり  
卍巴とながれ流るる  
二丁目 田中忠  
春うらら乳母車押すママやさし  
若葉ささやく公園を行く  
八潮五 広瀬キク江  
乳母車愚図り疲れて眠る孫  
握る拳に桜舞い散る

大曾根 宗像ゆき子  
クロバーの花で編みたる花冠  
子等にかぶせむ春深き野に  
八潮五 林悦子  
由比ヶ浜を遙かに望む長谷寺の  
ろう梅の香に往時を偲ぶ  
古新田 横田八重  
温泉の噴き上がり出る川添いの  
湯溜り池に入りし猿たち  
南川崎 小野塚喜代子  
孫みゆき喜寿おめでとのファックスに  
今宵長々と返事認む  
大曾根 小倉末子  
老いたれば香席などを見て人ごみを  
そとと腕くみそぞろ歩けり  
二丁目 田中祐子  
日によりてはつとすほど確かなる  
姑の記憶にわれ襟を正す  
木曾根 高谷多門  
盛り咲く桜の下に賑わうも  
我れ一人のみふるさと想う

### 俳句

二丁目 田中元三  
花咲けど気分浮き立つこともなし  
職安通う人の多きに  
二丁目 平井石龍  
春雨に目覚める庭の陶蛙  
水温む空缶水に抱かれ行く  
鶴ヶ曾根 斉藤初子  
化粧する女の駅舎に梅日和  
信濃路の空は霞みて花三分  
中央一 山角微陽  
むさし野の夕日をここに独歩の忌  
鶴ヶ曾根 斉藤道子  
花冷えのひとりの昼を灯しけり  
八潮六 藤崎政子  
小雀の声弱々し冷雨かな  
八潮七 小倉孝義  
花散りて静寂残す朝の道  
八潮七 鈴木義鳳  
阿修羅像浮かぶ床の間春灯し

二丁目 加藤龍子  
花の下見知らぬ友も花の友  
柳之宮 小倉義孝  
行く春をのせて流るる花筏  
鶴ヶ曾根 平本愛子  
水温むまな板の音軽やかに  
大曾根 小倉義孝  
置葉替え去る人も春の風邪  
小作田 小倉義孝  
幼な子の笑顔と共に嫁つぐ友  
小作田 藤波ふみ  
汁の実を採りに行く畑におぼる月  
圀 沼野あい  
雨垂れの音ひたひたと春隣り  
柳之宮 尼ヶ崎友江  
咲き競う夫丹精のチューリップ  
八潮七 石井忠枝  
花吹雪五百羅漢を吹きぬけし  
八潮七 茂村一留  
万歩計ささむ音あり桜土手  
八 杉村知香

**草加市**

○草加市消費生活展  
日 時 6月13日(土)・午後12時30分～4時、14日(日)・午前10時～午後3時  
場 所 勤労福祉会館  
内 容 作家・門野晴子さんの記念講演会(13日、午後2時から・参加無料)、生活に関する各種相談コーナー、リフォームファッションショー  
問い合わせ 草加市商工課消費生活係 ☎41-6111

**行ってみたいな となりまち**

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

**松伏町**

○松伏総合公園で休日のひとときを  
緑に囲まれた松伏総合公園。広々とした池に噴水と滝、そして白鳥が優雅に泳ぎ、カモが水辺で遊びます。池のほとりには散策路、あずまや、ベンチ、スペイン風の風車があり、風車は公園のシンボリック的存在になっています。  
交通 東武伊勢崎線北越谷駅東口から「エローラ」行きバス終点で下車  
問い合わせ 松伏町都市計画課 ☎91-2711

**三郷市**

○オリンピックキャスター小谷実可子(元シンクロアイスダンス選手・ソウル五輪銅メダリスト)・スポーツ講演会  
日 時 5月17日(日)、午前10時から  
場 所 三郷市総合体育館  
費 用 入場料無料(整理券が必要です)  
交通 武蔵野線三郷駅から三郷市役所経由松戸駅行きバスで「岩野木境」下車徒歩5分  
問い合わせ 三郷市総合体育館 ☎53-6121

**吉川市**

○さつき展・花しょうぶ展開催  
日 時 5月23日(土)・24日(日)、午前10時～午後4時  
場 所 吉川市中央公民館  
交通 武蔵野線吉川駅下車北口から徒歩15分  
内 容 さつき展出品種目(競技花・銘木・銘花)、花しょうぶ展出品種類(初霜・蜀江錦・日の出鶴)  
問い合わせ 吉川市役所商工課(さつき展)・農政課(花しょうぶ展) ☎82-5111

**越谷市**

○越谷市制40周年記念・宝くじ文化公演「ロシアバレエフェスティバル」  
日 時 5月13日(木)、午後6時30分開演  
場 所 サンシティ・大ホール  
演 目 「くるみ割り人形」組曲、「舞踏への誘い」「ハーレキナード」「パピヨン」より、ほか  
入場料 S席4000円・A席3000円・B席1000円(全席指定)  
問い合わせ 越谷市都市文化課 ☎64-2111